

決 算 報 告 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

電話番号 090-9631-1610
住 所 宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3

データ同期後、按分計算を行っていません。

法人名：特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

活動計算書

2021年4月1日 から 2022年3月31日 まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費		120,000	
2. 受取助成金等			
受取国庫補助金		5,223,200	
3. 事業収益			
森林整備保全事業収益	6,375,260		
間伐材工房運営事業収益	1,459,781		
木質バイオマス普及事業収益	1,887,930		
木育等木づかい普及事業収益	49,000	9,771,971	
4. その他収益			
受取利息	7		
雑収益	154,958	154,965	
経常収益計			15,270,136
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	4,226,000		
法定福利費	651,756		
人件費計	4,877,756		
(2)その他経費			
通勤費	110,000		
売上原価	827,262		
交際費	14,374		
旅費交通費	646,902		
通信運搬費	923		
消耗品費	1,222,989		
水道光熱費	915,762		
地代家賃	2,024,000		
賃借料	600,000		
減価償却費	1,892,643		
保険料	89,850		
租税公課	69,800		
支払手数料	47,809		
支払寄付金	4,900		
新聞図書費	15,205		
支払利息	15,100		
雑費	105,000		

科目	金額		
外注費	2,113,074	15,593,349	
その他経費計	10,715,593		
事業費計			
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	744,000		
法定福利費	143,301		
人件費計	887,301		
(2)その他経費			
福利厚生費	108,096		
会議費	4,450		
旅費交通費	1,900		
通信運搬費	449,584		
消耗品費	121,518		
諸会費	23,500		
租税公課	67,250		
支払手数料	1,710		
その他経費計	778,008		
管理費計		1,665,309	
経常費用計			17,258,658
当期経常増減額			-1,988,522
税引前当期正味財産増減額			-1,988,522
当期正味財産増減額			-1,988,522
前期繰越正味財産額			-8,843,349
次期繰越正味財産額			-10,831,871

データ同期後、按分計算を行っていません。

法人名：特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

貸借対照表

2022年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	446,694		
流動資産合計		446,694	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
構築物	93,639		
機械装置	595,191		
車両運搬具	1,322,397		
工具器具備品	49,009		
減価償却累計額	-881,598		
有形固定資産計	1,178,638		
固定資産合計		1,178,638	
資産合計			1,625,332
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	397,687		
預り金	90,616		
役員借入金	9,418,900		
流動負債合計		9,907,203	
2. 固定負債			
長期借入金	2,550,000		
固定負債合計		2,550,000	
負債合計			12,457,203
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-8,843,349	
当期正味財産増減額		-1,988,522	
正味財産合計			-10,831,871
負債及び正味財産合計			1,625,332

データ同期後、按分計算を行っていません。

法人名：特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹

財産目録

2022年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
ゆうちょ（法人:末尾51）	219,222		
ゆうちょ（法人：末尾91）	154,822		
現金	72,650		
流動資産合計		446,694	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
構築物			
機械装置			
車両運搬具			
工具器具備品			
減価償却累計額			
有形固定資産計	1,178,638		
固定資産合計		1,178,638	
資産合計			1,625,332
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
預り金			
役員借入金			
流動負債合計		9,907,203	
2. 固定負債			
長期借入金			
固定負債合計		2,550,000	
負債合計			12,457,203
正味財産			-10,831,871

データ同期後、按分計算を行っていません。

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によつてい
ます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サー
ビスの受入の内訳」に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記
しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	木育等木 使い普及 事業	木質バイ オマス普 及事業	森林整備保 全事業	間伐材工房 運営事業	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	120,000	120,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	173,000	0	4,600,200	450,000	5,223,200	0	5,223,200
4. 事業収益	49,000	1,887,930	6,375,260	1,459,781	9,771,971	0	9,771,971
5. その他収益	0	0	124,000	24,483	148,483	6,482	154,965
経常収益計	222,000	1,887,930	11,099,460	1,934,264	15,143,654	126,482	15,270,136
II 経常費用							
(1)人件費							
給料手当	0	0	0	4,226,000	4,226,000	744,000	4,970,000
法定福利費	0	0	103,351	548,405	651,756	143,301	795,057
人件費計	0	0	103,351	4,774,405	4,877,756	887,301	5,765,057
(2)その他経費							
通勤費	0	0	0	110,000	110,000	0	110,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	108,096	108,096
売上原価	0	695,582	0	131,680	827,262	0	827,262
会議費	0	0	0	0	0	4,450	4,450
交際費	0	0	14,374	0	14,374	0	14,374

科目	木育等木 使い普及 事業	木質パイ オマス普 及事業	森林整備保 全事業	間伐材工房 運営事業	事業部門合計	管理部門	合計
旅費交通費	0	15,019	436,499	195,384	646,902	1,900	648,802
通信運搬費	0	0	280	643	923	449,584	450,507
消耗品費	1,261	8,370	516,972	696,386	1,222,989	121,518	1,344,507
水道光熱費	0	0	45,508	870,254	915,762	0	915,762
地代家賃	0	0	204,000	1,820,000	2,024,000	0	2,024,000
賃借料	0	0	600,000	0	600,000	0	600,000
減価償却費	0	1,999	1,763,246	127,398	1,892,643	0	1,892,643
保険料	0	0	55,430	34,420	89,850	0	89,850
諸会費	0	0	0	0	0	23,500	23,500
租税公課	0	0	30,300	39,500	69,800	67,250	137,050
支払手数料	165	715	4,810	42,119	47,809	1,710	49,519
支払寄付金	4,900	0	0	0	4,900	0	4,900
新聞図書費	0	0	11,301	3,904	15,205	0	15,205
支払利息	0	0	15,100	0	15,100	0	15,100
雑費	0	0	105,000	0	105,000	0	105,000
外注費	0	460,000	596,027	1,057,047	2,113,074	0	2,113,074
その他経費計	6,326	1,181,685	4,398,847	5,128,735	10,715,593	778,008	11,493,601
経常費用計	6,326	1,181,685	4,502,198	9,903,140	15,593,349	1,665,309	17,258,658
当期経常増減額	215,674	706,245	6,597,262	-7,968,876	-449,695	-1,538,827	-1,988,522

3. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	9,543,983	2,360,000	2,485,083	9,418,900
政策金融公庫	3,378,000	0	828,000	2,550,000

4. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

5. その他

事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 フォレストサイクル元樹

電話番号 090-9631-1610
住所 宮城県栗原市若柳上畑岡大立85-3

2021年度事業報告①

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

1.事業総括

平成22年(2010年)4月にNPO法人を立上げ丸12年が経過しました。本報告書では、2021年度(令和3年)決算及び2021年度に実施した事業の概略についてご報告申し上げます。

1. 令和3年(2021年)度決算について

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響に、日本中が前年以上に左右された年だったと感じます。法人の事業も、工房運営事業が工房収益が約146万で前年対比▲68%、森林整備保全事業が約637万円で前年対比ほぼ一緒、たまたまHP経由にて設置まで至った薪ストーブの木質バイオマス事業が約188万円で前年対比196%、木育等木使い普及事業が向山こども園での年末イベント売上分にて、前年度0円から約5万円のプラスですが、令和3年度単年で約200万円の赤字を計上する結果で終了しました。ただ、事業全体の自主事業収益比率は66%で、前年の59%を7%上回っている事と、コロナ渦の中で対外的な活動がほぼ100%できなかつた状況下で、HPサイトからの注文や、ふるさと納税返礼品等の、単価は小さいが年間計で見るとコンスタントに発注が継続した、積み重ねの成果であり、結果的には充分な検討に値する成果だと思えます。

岩泉地域での森林整備保全事業も丸5年が経過し、スタッフには「安全を最優先に」と現場朝礼時には繰り返し伝えていますが、効率を優先しそうになることが正直発生しました。昨年度、岩泉地域の林業現場では、年度後半に2件の死亡事故が発生しております。現在3名の専従スタッフが全ての事業に関わっており、その誰が欠けても法人としての事業の継続が危うくなります。今後一層気を引き締めてし活動に専念してゆくことを皆様にお約束します。



年代物のケヤキの臼と手作りの杵



年末恒例の本格的な餅つき

この後の個別事業の報告にて詳しく説明いたしますが、コロナ渦の影響も大きく、岩泉での森林施行と、「木のたまごの缶詰&樹木図鑑」の開発関連が、活動の大半を占めた1年でした。

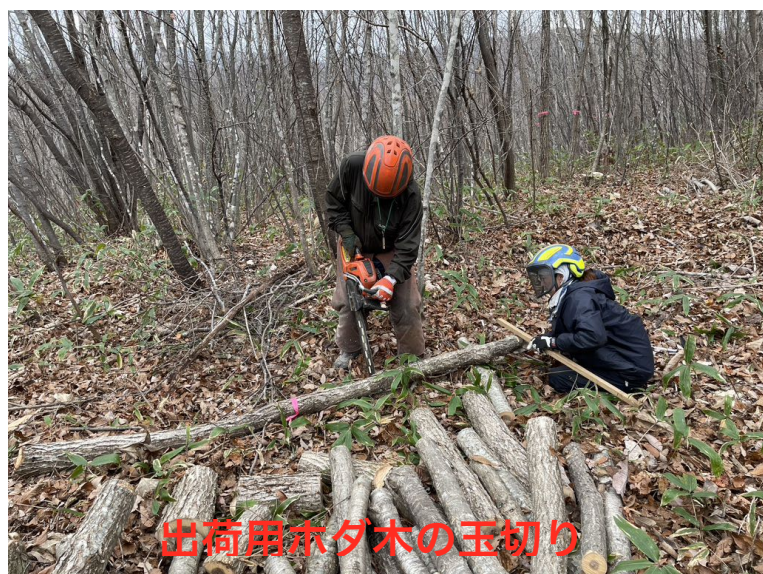
現在、フォレストサイクル元樹の正会員は11名です。NPOという組織形態での活動を今後とも継続するのにギリギリの会員数です。毎年同じ言い回しで恐縮ですが、継続して”フォレストサイクル元樹の会員でいてくれる”だけでも皆様には感謝いたします。株式会社や有限会社等一般的な営利目的の事業者ではなく、NPO法人として目的実現に向け非営利活動を実施しながら事業を展開できるのは、NPOという組織でいられるからです。毎年年末30日には、栗原の工房にて参加費無料の餅つきを開催しています。つきたて餅の試食とお土産もあります、ぜひ遊びにいらしてください。法人HPの活動スケジュールは、翌月分は事前に予定を入れてあります。会員の皆様には、今後とも陰ながらも構いませんので、継続会員として年会費にて応援していただけることを切に願っております。

2021年度事業報告②

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

2-① 森林整備保全事業について

事業全体の核であるホダ木生産の実績値は、通年納品している農家さん分で7,720本と、前年より4,000本強の減でした。岩泉地域での森林施行では、往復だけで1回約500Kmの走行距離に加え、宿舎件事務所として年間契約している建物の家賃等、毎月約10万円のコストが発生する為、その分の収益確保として一般的なホダ木納品事業者より、1本単価を高めに設定して今迄やってきました。納品先窓口の森林組合や県信連には、国や東電からの差額の金銭保証があるまでは、事情を汲んでもらいお願いしてきました。もう1点指摘されたのが、昨年度納品のホダ木が、節や曲がりが見られたという品質クレームでした。今年度は、ホダ木の径や曲がり・節については充分確認して出荷した結果、問題なしの評価をもらうことができました。これからも同様の件はつきまってくる問題にて、違った視点での再考が必要且つ課題である。また現在新たなチャレンジとして、「森林レンタル」事業を進行中で準備の初期段階です、乞うご期待！！



出荷用ホダ木の玉切り



玉切り材集材→土場積み

令和2年度に続き、地元築館町にある個人宅裏の「イグネ伐採」の依頼が、法人立ち上げ当初からお世話になっている前工務店棟梁より相談があり、妹さん宅とのことで現地視察。大ケヤキ2本が建物側を向いていた為、樹上作業案件にて会員の辻さんにもお手伝いを頂きながらの作業を完了しました。作業は5日間かけ、腰高直径平均25cm～平均樹高20m～のスギを約180本伐採。伐採木は葉枯らし乾燥にて、一部枝を残した状態で、長材のまま本年度作業は終了。搬出する事を条件に、当会で自由に使用する事を了承してもらいました。丸太状態で約1年乾燥の後、森林組合に委託して集材・土場積みを計画、搬出&製材経費相当分は売却し、残った材は板や角に製材して、工房敷地内に作業小屋を自前にて建設する計画です。



平均腰高直径25cm、平均樹高20m



伐採本数合計：約180本

2021年度事業報告③

2-② 森林整備保全事業について

本年度から、薪ストーブ用の薪用原木の搬出や薪作り・薪の販売は、決算報告や事業報告において、事業部門を「森林整備保全事業」に変更。薪の新規需要顧客を5件で目標設定したが、小ロットの新規のお客様を含めると、目標を上回る需要があり、令和3年度合計では、13件51㎡の需要があった。令和2年度からスタートした仙台市内のピザ屋さんへの納品も、定期的に継続できており、今後は煙突のある家へのアプローチだけでなく、業務で薪を日常的に使う事業者へのアプローチも実施してゆきたい。

また本年度は、37tクラスの中国製の薪割り機を新規で導入、今迄”中国製”というだけでマイナスイメージを持っていたが、エンジンはほぼ一発で始動し、直径60cmクラスの大径木の中に隠れ節があっても、停止する事なく割れが入る。使い始めてまだ1年に満たないが、今のところ不安要素は全くなく、今後の薪の生産事業拡大になくてはならない存在になりつつある。



縦横兼用のハイパワー薪割り機、長さも80cmに対応

2-③ 森林整備保全事業について

本年度は、法人の将来的な森林整備保全事業の、更なる拡大に向けて2つの資格(認定)を取得しました。1つ目は、「岩手県産材認証推進協議会」に法人会員として新規に加入し、「岩手県産材」の証明登録者の認定資格を得た事です。何らかの岩手県産材使用を条件にした事業において、当法人の出荷する木材に対し、「第1証明者」として証明書をつけることが出来るようになりました。2つ目は、「森林整備技術研修」を受講・修了証を得たことで、「いわて環境の森整備事業」の入札参加資格を取得したことです。将来的な事業機会拡大の布石です。



3. 木質バイオマス普及活動について



薪ストーブ普及を核とした「木質バイオマス普及事業」及び、出前講座やワークショップ開催等を柱とする「木育等木使い普及事業」に関わる活動は、本年度も法人としてはゼロベースに等しい、動く事自体が難しい1年でした。そんな状況下でも、HP経由で1台、会員である杉原さんの紹介にて1台、合計2台の新規導入設置工事を完了することができました。栗原市と一関市のどちらも既存住宅で、Aタイプのオープン付です。結果的には、2期連続での複数台の導入を達成できましたが、今後は法人活動に起因する成果となるような活動の実現が課題です。

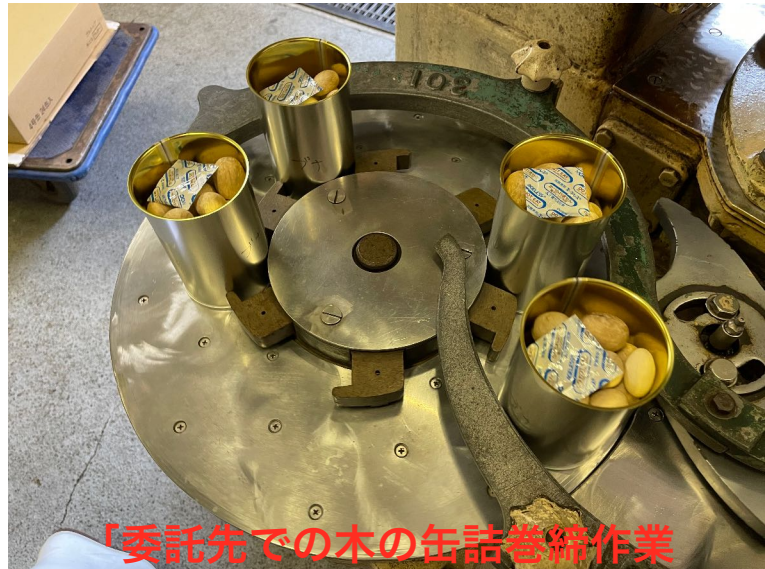
2021年度事業報告④

4. 間伐材工房運営事業について

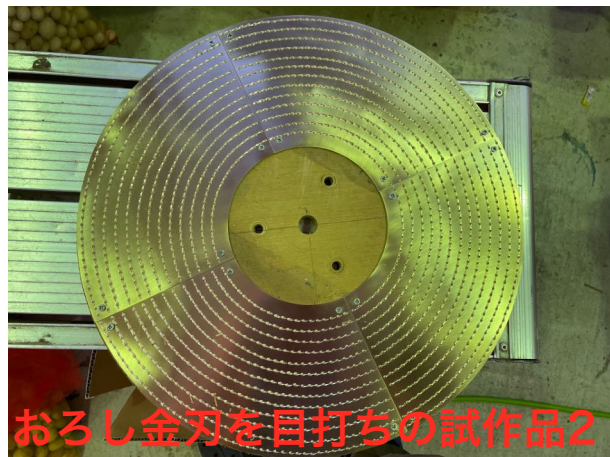
令和3年度の事業活動の大半は、法人の安定的な収益確保を目的とした新たな商品開発に向けて多方面への活動を実施しました。「木のたまごの缶詰」原材料用に、新たな種類の樹種探しと採取に向け、岩手県立大学の植物専門の先生や岩手県立博物館、岩手県植物誌調査会等皆初めてのコンタクト先への協力要請、結果80種類まで拡大できました。缶詰ラベルのデザインも、地域色を前面に出す為に地域の高校生が制作したデザインを取り入れるべく、盛岡市内の高校に協力を打診し全面的な協力に繋がりました。事業経費も、小規模事業者持続化補助金を岩泉商工会サポートにて採択され、普及活動も全面的にサポートしてくれるとの事。年度内に缶詰サンプルも出来上がり、樹木図鑑と缶詰共に令和4年8月完成の目処が立つ段階迄完了



空缶への「木のたまご」詰込み作業

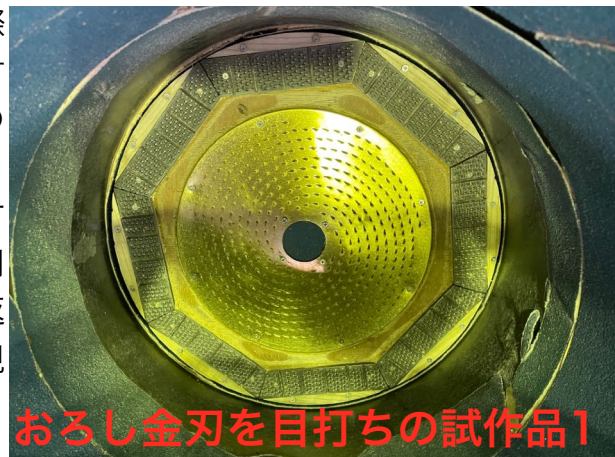


「委託先での木の缶詰巻締作業



おろし金刃を目打ちの試作品2

“木のたまご”加工の際に、1番重要なのが材料の荒削りで、既存の鬼目ヤスリに変わる、切削時間&仕上り両方の向上を狙い、切削用ヤスリの改良を繰り返し実施。理想形の実現一歩手前まで到達。



おろし金刃を目打ちの試作品1



新作：アニマルフェイス

本年度の間伐材工房運営事業は、直接的なアプローチを実施できる社会状況ではなかったが、昨年のHPリニューアル効果も手伝って、ログキッズ・森の樹のお位牌・フォレストキューブの発注の他、ネットワークのある幼保施設からの、ウッドブロック・お絵かき用プレート(5,000枚)・ままごと用テーブル・卒園記念品の発注等、1件当りの金額は大きくないが、それなりの受注数となった。加えて一昨年後半からスタートした、岩泉町ふるさと納税返礼品は、24件144,000円の売り上げとなり、新たに返礼品に加えた薪(段ボール)も、複数回の注文があった。岩泉町「手仕事や」の委託販売も、観光客減の中では順調に推移中。



ままごとテーブル2種



卒園記念品：ペン立て



薪20kg(段ボール入り)